

令和6年度（2024年度）

京都市立芸術大学音楽学部入学試験 試験内容及び課題曲

第一次試験（音楽学専攻以外の専攻）

作曲専攻	1
指揮専攻	3
ピアノ専攻	3
弦楽専攻	4
*ヴァイオリン	4
*ヴィオラ	5
*チェロ	5
*コントラバス	6
管・打楽専攻	7
*フルート	7
*オーボエ	7
*クラリネット	7
*ファゴット	7
*サクソフォン	7
*ホルン	7
*トランペット	8
*トロンボーン	8
*バス・トロンボーン	8
*ユーフォニアム	8
*チューバ	8
*打楽器	8
打楽器（A）	9
打楽器（B）	9
声楽専攻	10
*伴奏用楽譜について	10

第一次試験（音楽学専攻）

・英語	12
・事前提出物	12

第二次試験（音楽学専攻以外の専攻）

1 試験内容	13
2 副科ピアノについて（作曲、指揮、弦楽、管・打楽、声楽）	13

第二次試験（音楽学専攻）

口頭試問	15
------------	----

令和 6 年度（2024 年度）

音楽学部入学試験 第一次試験（音楽学専攻以外の専攻）

作曲専攻

（第 1 日）・和声法（試験時間各 2 時間 30 分）

A バス課題：与えられたバスに和声をつけ、4 声体とすること。

B ソプラノ課題：与えられたソプラノに和声をつけ、4 声体とすること。

両課題とも記譜は次の a または b のいずれかを選択すること。

a ト音記号とヘ音記号の大譜表による。

b ソプラノ、アルト、テノール及びバス記号による。ト音記号は用いない。

実施記譜例（a、b による記譜）は別記のとおり。

・作品提出

自作品を 1 曲以上、試験当日に提出すること。なお、提出された作品は返却しないので、コピー譜を提出すること。

（第 2 日）・二声対位法（試験時間 2 時間）

与えられた全音符の定旋律に対旋律をつくること。対旋律は、2 分音符、4 分音符、8 分音符と移勢（シンコペーション）を含む、いわゆる自由（華麗）対旋律によるものとする。

解答は、次の 1～6 の 6 通りが必要である。

1：定旋律をバスに置き、対旋律をソプラノに作る。

2：定旋律をバスに置き、対旋律をアルトに作る。

3：定旋律をバスに置き、対旋律をテノールに作る。

4：定旋律をソプラノに置き、対旋律をアルトに作る。

5：定旋律をソプラノに置き、対旋律をテノールに作る。

6：定旋律をソプラノに置き、対旋律をバスに作る。

なお、定旋律は、ソプラノとバスにおいて、適宜移調してもよい。

記譜は次の a または b のいずれかを選択すること。

a ト音記号とヘ音記号の大譜表による。

b ソプラノ、アルト、テノール及びバス記号による。ト音記号は用いない。

実施例（b による記譜）は別記のとおり。

・作曲（試験時間 4 時間 30 分）

与えられた素材により器楽曲を作曲すること。

（第 3 日）・面接

各日の試験内容、及び提出作品について等の試問。

◎作曲専攻（第 1 日）和声法の実施例

*課題 {過去の出題（ソプラノ課題）より冒頭 2 小節}



*記譜 a による実施例

Andante (♩=72ca.)

*記譜 b による実施例

Andante (♩=72 ca.)

◎作曲専攻（第2日）二声対位法の実施例

*記譜 b による実施例

定旋律

実施例

指揮専攻

・和声法（試験時間 3 時間）

与えられたバスとソプラノの旋律に和声をつけ、4 声体とすること。

（記譜はト音記号とヘ音記号の大譜表による。）

・実技試験

1 下記の楽曲の指揮をすること。演奏箇所は、当日指定する。（演奏は二台ピアノによる）

（ア）L. v. Beethoven：交響曲 第 1 番 ハ長調 作品 21 より第 1 楽章、第 4 楽章

（イ）P. I. Tchaikovsky：弦楽のためのセレナーデ 作品 48 より第 2 楽章 ワルツ

上記、出版社は自由とする。

2 下記の楽曲による総譜視奏（スコアリーディング）

（ア）L. v. Beethoven：交響曲 第 7 番 イ長調 作品 92 より第 2 楽章

（イ）初見視奏（当日提示する管弦楽曲）

3 既に習得している楽器（ピアノ、弦楽器、管打楽器、ハープのうちいずれか 1 つ）若しくは声楽を演奏すること。その場合、楽器は各自持参すること。ただし、コントラバス、ハープについては、楽器を持参できない場合は、本学で用意するので、楽器を持参するか否かをインターネット出願登録時に入力すること。マリンバについては、本学で用意する楽器を使用すること。

なお、声楽を除きすべて無伴奏とし、演奏曲目をインターネット出願登録時に入力すること。伴奏者は本学で用意する。ピアノで受験する場合も、第二次試験の副科ピアノ演奏を受験しなければならない。

※声楽選択者の伴奏用楽譜について

声楽を選択する場合、伴奏用楽譜を出願の際 1 曲につき 2 部ずつ提出すること。

・ 1 ページの大きさは A4 判とし、各ページが全開するよう横一連に綴じること。

・ 表紙には曲名、調、氏名を明記すること。（表紙の右上部分には何も書かないこと。）

・ 印刷した Web 入学志願票等の必要書類とともに封筒に入れ、出願期限までに「簡易書留・速達」で郵送すること。

4 面接を行う。

ピアノ専攻

下記の楽曲を演奏すること。

（第 1 日）1 ロマン派以降の作品から、練習曲以外の任意に選んだ作品。

（第 2 日）2 F. Chopin：練習曲作品 10 及び作品 25 から任意の 2 曲を選択し、第 1 日目に本人立会いのもと、係員による抽選で、演奏する 1 曲を決定する。

3 J. Haydn または W. A. Mozart または L. v. Beethoven の、任意のソナター一曲全楽章を選択し、第 1 日目に本人による抽選で、演奏する（1 つの、あるいは複数の）楽章を決定する。

※注意 (1) いずれも暗譜演奏すること。

(2) 繰り返しは自由。但し、ソナタ形式の提示部については繰り返さないこと。

(3) 演奏するすべての曲の作曲者、作品番号、楽章、調名をインターネット出願登録時に入力すること。

(4) 1 については 7 分以上 12 分程度までとする。

(5) 1 については、変奏曲の抜粋は認めない。

- (6) 2について、以下の曲は除く。
 作品 10 から 3、6、9 作品 25 から 1、2、7
- (7) 2について、作品番号にかかわらず2曲を選択することも可。
 (例：10-1 10-2 あるいは 25-4 25-5 あるいは 10-1 25-4)
- (8) 時間の都合上カットすることがある。

弦楽専攻

下記の課題を演奏すること。

- ※注意 (1) 選択した曲目及び調名をインターネット出願登録時に入力すること。
 (2) 全ての課題は伴奏なしで暗譜演奏すること。(繰り返し及びダ・カーポはしない。)
 (3) コントラバスについてのみ、楽器を持参できない場合は本学で用意するので、楽器を持参するか否かをインターネット出願登録時に入力すること。
 (4) 時間の都合上カットすることがある。

*ヴァイオリン

(第1日) 下記の中から、いずれか1曲を選択し、その第1楽章と第2楽章(ただし Lalo のスペイン交響曲においては第1楽章と第4楽章)を演奏すること。

M. Bruch：協奏曲 第1番 ト短調 作品 26

A. Dvořák：協奏曲 イ短調 作品 53

(Adagio ma non troppo から Finale の前までを第2楽章とする。)

E. Lalo：スペイン交響曲 ニ短調 作品 21

F. Mendelssohn：協奏曲 ホ短調 作品 64

N. Paganini：協奏曲 第1番 ニ長調 作品 6

(オリジナル版により演奏すること。カデンツァはなし。)

C. Saint-Saëns：協奏曲 第3番 ロ短調 作品 61

J. Sibelius：協奏曲 ニ短調 作品 47

P. Tchaikovsky：協奏曲 ニ長調 作品 35

(第1楽章はカデンツァの前まで演奏すること。)

H. Vieuxtemps：協奏曲 第4番 ニ短調 作品 31

H. Vieuxtemps：協奏曲 第5番 イ短調 作品 37

(カデンツァはなし。Adagio から Allegro con fuoco の前までを第2楽章とする。)

H. Wieniawski：協奏曲 第1番 嬰ヘ短調 作品 14

(第1楽章はカデンツァの前まで演奏すること。)

H. Wieniawski：協奏曲 第2番 ニ短調 作品 22

(第2日) 1 C. Flesch：Scale System より No.5、6、7、8、9、10 ただし No.6～No.9 は最初の4小節のみとする。

○調性は任意であるが、全て同一の調性であること。

○リズム及びボウイングはハ長調に準ずる。ただし No.6、7、8、9、10 は4分音符単位(16分音符4個分)で、スラーをかけることとする。

○速度は No.5 はメトロノームで4分音符=80以上、No.6～10 は8分音符=60以上で演奏すること。

- 2 下記の中から、いずれか1曲を選択し、演奏すること。

P. Rode : 24Caprices

J. Dont : Etüden und Capricen 作品 35

N. Paganini : 24Caprices 作品 1 (ただし 17 番冒頭及び 24 番の繰り返しはすること。)

* ヴィオラ

- (第1日) 下記の中から、いずれか1曲を選択し、演奏すること。

Carl Stamitz : 協奏曲 ニ長調 作品 1 第1楽章及び第2楽章 (ヘンレ版を使用すること。カデンツァを除く。)

A. Hoffmeister : 協奏曲 ニ長調 第1楽章及び第2楽章 (ヘンレ版を使用すること。カデンツァを除く。)

M. Reger : Suite 作品 131d No.1 第1楽章及び終楽章

- (第2日) 1 C. Flesch : Scale System より No.5、6、7、8

ただし No.6、7、8 は最初の4小節のみとする。

○調性は任意であるが、全て同一の調性であること。

○リズム及びボウイングはハ長調に準ずる。ただし No.6、7、8 は8分音符単位(16分音符2個分)で、スラーをかけることとする。

○速度は任意である。

- 2 B. Campagnoli : 41 Caprices 作品 22 より任意の1曲を選択し演奏すること。(版は自由とする。)

* チェロ

- (第1日) 任意の協奏曲より第1楽章または最終楽章を演奏すること。

- (第2日) 1 J. Loeb の Gammes et arpèges (Billaudot 版) を参照のうえ、ホ短調による下記 (a) から (f) までの課題を演奏すること。

(a) 4オクターヴにわたる単音の音階 (スラーは1弓8音♩=80以上)

(b) 4オクターヴにわたる単音分散3度の音階 (スラーは1弓8音♩=80以上)

ハ長調の例



(c) 4オクターヴにわたるアルペジオ (スラーは1弓6音♩=60以上)

(d) 2オクターヴにわたる重音3度の音階 (スラーは自由♩=60以上)

(e) 2オクターヴにわたる重音6度の音階 (スラーは自由♩=60以上)

(f) 2オクターヴにわたる重音8度の音階 (スラーは自由♩=60以上)

(注) (d) (e) (f) の音階を始める音域は任意とする。また運指は全て自由とする。

- 2 J. Duport : Etudes より任意の1曲を演奏すること。

※上記全ての課題曲の版は自由とする。

*コントラバス

(第1日) 任意のソナタの第1楽章及び第2楽章または協奏曲の第1楽章を演奏すること。

(第2日) 1 下記 (a) ~ (d) までの音階及びアルペジオの課題を演奏すること。

2 Josef Hrabě : 86 Etüden für Kontrabass より 52 番を演奏すること。

(Hofmeister 版を使用すること。フィンガリング、ダイナミックスは自由とする。)

(a)



(b)



(c)



(d)



管・打楽専攻

以下の楽曲を演奏すること。

- ※注意**
- (1) 下記の第1日の暗譜演奏の指示のない課題曲の楽譜は各自持参すること（本学で楽譜は用意しない。）。
 - (2) 下記の第2日の楽曲は、いずれも暗譜演奏すること（繰り返しはしない。）。
 - (3) 伴奏者は、いずれも本学において準備するので、同伴しないこと。
 - (4) 時間の都合上カットすることがある。

*フルート

- (第1日) E. Köhler : 12 Medium Difficult Exercises 作品 33 第Ⅱ巻の中から当日指定する曲（版の指定なし。）
- (第2日) W. A. Mozart : 協奏曲 第1番 ト長調 K.313 (K6.285C) 第1楽章（カデンツァを除く。）

*オーボエ

- (第1日) W. Ferling : 48 Etudes op.31 (Gerard Billaudot 版または全音楽譜出版社) より第4番、第8番、第9番、第17番、第23番、第30番、第31番、第34番、第37番、第42番の中から当日指定する曲
- (第2日) J. Haydn : 協奏曲 ハ長調 Hob. Vllg : C1 第1、第2楽章 (Breitkopf 版)

*クラリネット

- (第1日) 1 R. Eichler : Scales for Clarinet (KUNITACHI COLLEGE OF MUSIC) の各調1・2番を範囲とし、当日指定する調を暗譜で演奏すること（レガート、スタッカートのいずれかの指示をします。）
2 C. Rose : 32 Etudes (Alphonse Leduc 版) より第8番、第9番、第13番、第14番、第18番、第19番、第21番、第26番、第28番、第31番の中から当日指定する曲
- (第2日) Carl Maria von Weber : Concertino Es-Dur 作品 26

*ファゴット

- (第1日) J. Weissenborn : Fagott Studien 作品 8 第2巻より第1番から第15番までの中から当日指定する曲（繰り返しなし、版の指定なし）
- (第2日) G. P. Telemann : Sonata f-moll 第1楽章、第2楽章（版の指定なし）

*サクソフォン

- (第1日) W. Ferling : 48 Etudes pour tous les saxophones (Alphonse Leduc 版) より第6番、第8番、第9番、第14番、第17番、第29番、第31番、第32番、第50番、第53番の中から当日指定する曲
- (第2日) A. Grazounov : Concerto en mi bemol (Alphonse Leduc 版) 冒頭から練習番号第16番まで演奏すること。

*ホルン

- (第1日) C. Kopprasch : Sixty Selected Studies (C. Fischer 版、繰り返しなし) より第7番、第12番、第13番、第15番、第16番、第19番、第22番、第23番、第24番、第25番、第27番、第28番の中から当日指定する曲
- (第2日) W. A. Mozart : 協奏曲 第4番 変ホ長調 KV.495 より第1楽章（カデンツァなし）及び第3楽章（第99小節目まで）

***トランペット**

- (第1日) 1 E. F. Goldman : Practical Studies for the Trumpet より第 19 番 Cadenzas の中から当日指定する曲 (C. Fischer 版)
- 2 OSKAR BOEHME : 24 MELODIC STUDIES in all tonalities Opus20 より第 4 番～第 22 番の中から当日指定する曲
- なお、曲を演奏する前に、それぞれの調の音階をリピートありで一息で演奏する事。最初はテヌートで、リピート後は最後の分散和音までスタッカートで一息で演奏すること。

(第2日) G. Alary : Morceau de Concours

***トロンボーン**

- (第1日) Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社) より第 10 番、第 13 番、第 15 番、第 16 番、第 17 番、第 18 番、第 19 番、第 20 番、第 21 番、第 25 番、第 31 番、第 36 番、第 38 番、第 39 番、第 42 番の中から当日指定する曲 (繰り返しなし)

(第2日) F. David : Konzertino 変ホ長調 Op.4 第 1 楽章 (Zimmermann 版を使用すること。練習番号 D まで演奏)

***バス・トロンボーン**

- (第1日) Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社) より第 11 番、第 17 番、第 20 番、第 21 番、第 25 番、第 26 番、第 32 番の中から当日指定する曲 (繰り返しなし。第 17 番はオクターブ下で演奏すること)

Ostrander : Melodious Etudes for Bass Trombone (C. Fischer 版) より
第 6 番、第 10 番、第 16 番の中から当日指定する曲

(第2日) F. David : Konzertino 変ロ長調 第 1 楽章 (Zimmermann 版を使用すること。練習番号 D まで演奏)

***ユーフォニアム**

- (第1日) 1 J. B. Arban : Fourteen Characteristic Studies より第 1 番～第 4 番の中から当日指定する曲 (Encore music publishers)
- 2 M. Bordogni : Complete Vocalises for Trombone より第 20 番～第 27 番の中から当日指定する曲 (Encore music publishers)

(第2日) P. V. De la Nux : Solo de Concours pour Trombone et Piano (Leduc 版)、Concert Piece for Trombone or Baritone and Piano (Southern music company 版) (どちらの版でもよい)

***チューバ**

- (第1日) 1 C. Kopprasch : 60 Selected Studies より第 5 番、第 7 番、第 8 番、第 9 番、第 10 番、第 11 番、第 12 番、第 13 番、第 14 番、第 15 番の中から当日指定する曲
- 2 M. Bordogni : 43 Bel Canto Studies より第 2 番～第 10 番の中から当日指定する曲

(第2日) W. S. Hartley : Suite for Unaccompanied Tuba (Elkan-Vogel 版) より第 1 楽章、第 2 楽章、第 4 楽章

***打楽器**

打楽器 (A)、打楽器 (B) のいずれかを選択して演奏すること。(A、B いずれを選択したか、また A については選択した曲名を願書に明記すること。小太鼓については立奏、座奏いずれも可。両日とも小太鼓およびスタンドは持参すること。)

打楽器 (A)

- (第 1 日) (ア) A. J. Cirone : Portraits in Rhythm より、第 6 番、第 15 番の中から当日指定する曲
(イ) Heinrich Knauer : Kleine Trommelschule (Friedrich Hofmeister Musikverlag) より、第 25 番、第 28 番、第 29 番、第 30 番の中から当日指定する曲
(ウ) 下記の楽曲の中から一曲を選択し、本学で用意するマリンバで演奏すること。
版の選択は任意。暗譜で演奏すること。
J. S. Bach : ソナタ 第 1 番 ト短調 BWV1001
J. S. Bach : パルティータ 第 1 番 ロ短調 BWV1002
J. S. Bach : ソナタ 第 2 番 イ短調 BWV1003
J. S. Bach : パルティータ 第 2 番 ニ短調 BWV1004 より Ciaccona
J. S. Bach : ソナタ 第 3 番 ハ長調 BWV1005
J. S. Bach : パルティータ 第 3 番 ホ長調 BWV1006

(第 2 日) 第 1 日目の (ウ) に同じ

打楽器 (B)

- (第 1 日) (ア) A. J. Cirone : Portraits in Rhythm より、第 6 番、第 15 番の中から当日指定する曲
(イ) Heinrich Knauer : Kleine Trommelschule (Friedrich Hofmeister Musikverlag) より、第 25 番、第 28 番、第 29 番、第 30 番の中から当日指定する曲
(ウ) Siegfried Fink : Trommel-Suite より Intrada Toccata Mista Marcia (暗譜で演奏すること。)
(エ) J. S. Bach : パルティータ 第 3 番 ホ長調 BWV1006 より Bourée Gigue (本学で用意するマリンバで演奏すること。版の選択は任意。暗譜で演奏すること。)

(第 2 日) 第 1 日目の (ウ) に同じ

声乐専攻

(第1日) 自由曲：歌曲あるいはアリア1曲（宗教曲も含む）。演奏時間は4分程度とする。

ただし、課題曲以外のものを選ぶこと。

(第2日) 課題曲：下記の15曲の中から各自4曲を選ぶこと。その中から当日2曲を指定する。

- | | |
|----------------------|-------------------------------|
| (1) G. Caccini | Amarilli |
| (2) G. G. Carissimi | Vittoria, mio core! |
| (3) A. Scarlatti | Son tutta duolo |
| (4) F. Durante | Vergin, tutto amor |
| (5) G. B. Pergolesi | Nina |
| (6) G. B. Pergolesi | Se tu m'ami |
| (7) G. Giordani | Caro mio ben |
| (8) G. B. Bassani | Dormi, bella |
| (9) D. Cimarosa | Bel Nume che adoro |
| (10) V. Bellini | Vaga luna, che inargenti |
| (11) S. Donaudy | Sento nel core |
| (12) W. A. Mozart | Das Veilchen |
| (13) L. v. Beethoven | Ich liebe dich so wie du mich |
| (14) 山田耕筰 | この道（2番まで） |
| (15) 平井康三郎 | ゆりかご |

- ※注意
- (1) 試験の際の演奏は暗譜とする。
 - (2) 曲はすべて原語で演奏することが原則であるが、慣例として認められている訳語は可。
 - (3) 自由曲で、オペラ及びオラトリオ等のアリアは原調によるものとするが、慣例として移調されて歌われるものはその限りではない。
 - (4) 選択した曲名、作曲者名及び調性をインターネット出願登録時に入力すること。（提出後の調性の変更は認めない。）
 - (5) 自由曲及び課題曲については、時間の都合上、カットすることがある。
 - (6) 伴奏者は、両日とも本学において準備するので、同伴しないこと。

*伴奏用楽譜について

自由曲及び課題曲のためのピアノ伴奏用楽譜は、各自選択した調性の楽譜を、印刷したWeb入学志願票等の必要書類とともに1曲につき2部ずつ出願期限までに「簡易書留・速達」で郵送すること。

（自由曲2部、課題曲8部、計10部）

【注意事項】

- (1) 1ページの大きさは、A4判（297mm×210mm）にすること。
- (2) 各ページが全開するよう横一連に綴じること。その際、テーピングはマスキングテープを使用すること（セロテープは不可）。
- (3) 表紙に第1日・第2日の別、曲名、調性、氏名を明記すること。

(3)の記入例

伴奏用楽譜表紙

第2日 課題曲
G. Giordani
Caro mio ben（〇〇調）
芸大 和音

- (4) 台紙として、厚紙などの別紙は貼り付けないこと。また、表紙の右上部分には何も書かないこと。
- (5) 楽譜の曲名左下に「メトロノーム記号」を記入し、速度を指定すること（自由曲・課題曲共通）。

(5)の記入例

楽譜 1 ページ目

The image shows the first page of a musical score for the song "L'ultima canzone" by Giuseppe Verdi. The score is written for voice and piano. The tempo is marked as "Allegro" with a metronome marking of 120. The key signature is one flat (B-flat major or D minor). The score includes the title "L'ultima canzone" and the composer's name "Verdi". The lyrics are in Italian. The score is written on a single page with a double bar line at the end of the first system.

令和 6 年度（2024 年度）

音楽学部入学試験 第一次試験（音楽学専攻）

・英語（試験時間 1時間40分、300点）

英語の長文を読んだうえで、自分の考えを日本語で論じるなど、小論文的な要素を含む。

英和・和英辞書の持込可、電子辞書の持込可。ただし、通信機能のないものに限る。

・事前提出物（与えられた課題に関する研究レポート、100点）

課 題：自分の関心に沿って、音楽や音、あるいはそれらの文化について具体的な問いを立て、調査・分析・考察等を行ったうえでまとめなさい。具体的な問いを立て、結論を提示すること。なお、本文中で図表や譜例等を用いても構わない。

様 式：A4 サイズ（原稿の向きは縦、文字は横書き。上下左右に余白 3cm 程度設定すること）、明朝体（日本語）、11 ポイント、40 字×30 行、PDF 形式（手書きで作成せず、パソコン等を使用すること）

文 字 数：2,000 字程度（図表、譜例、注、参考文献は字数に含まない）

＜PDFファイルの提出方法＞

- ・Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること。

ファイルをアップロードするためのリンクを、令和 6 年 2 月 15 日（木）以降に出願時に登録しているメールアドレスに送付します。

メールで送付したリンクを開くとアップロード画面に移るので、提出したい PDF ファイルを選択してアップロードしてください。

なお、PDF ファイルのアップロードにあたり、Dropbox のアカウントを作成したり、アプリをインストールしたりする必要はありません。

メールが 2 月末までに届かない場合は、電話等により連携推進課入試担当まで問い合わせること。

- ・PDF ファイルのタイトルは、「事前提出物. 受験番号. 受験者氏名」とすること。なお、受験番号は半角数字とすること。

（例）事前提出物. 27001. 芸大和音

- ・PDF ファイルの提出期限は、令和 6 年 3 月 4 日（月）18 時 00 分 00 秒とする。

（特別な事情がなく、上記期限までに PDF ファイルのアップロードがなかった場合は、受験を認めません。）

＜その他注意事項＞

- ・インターネット出願時に登録したメールアドレスで「@kcua.ac.jp」のドメインからのメールを受信できるように設定すること。
- ・可能であれば、キャリアメール（NTT ドコモ、ソフトバンク、au 等）以外のメールアドレスを使用することが望ましい。
- ・Dropbox の利用方法に関する問い合わせには一切応じません。

令和 6 年度（2024 年度）

音楽学部入学試験 第二次試験（音楽学専攻以外の専攻）

1 試験内容

専攻	音楽通論	聴音書取 (旋律・和声)	新曲視唱	コールユーブンゲン視唱 (全訳書第1巻より当日1曲指定)	副科ピアノ	ピアノ 新曲視奏
作曲専攻	●	●	●		●	
指揮専攻	●	●	●		●	
ピアノ専攻	●	●	●			●
弦楽専攻	●	●	●		●	
管・打楽専攻	●	●	●		●	
声楽専攻	●	●	●	●	●	

2 副科ピアノについて（作曲、指揮、弦楽、管・打楽、声楽）

副科ピアノの課題曲については、次のとおりとします。

- 1 音階：次の調性の中から同一調子記号による長調と短調を事前に指定する。

（音階指定は令和 6 年 2 月 15 日（木）以降に、出願時に登録しているメールアドレスに送付します。）

速度は♩=76M.M.以上。

ハ長調 ト長調 ニ長調 イ長調 ヘ長調 変ロ長調 変ホ長調
イ短調 ホ短調 ロ短調 嬰ヘ短調 ニ短調 ト短調 ハ短調

（注）ハノン第 39 番による。長調の音階は繰り返し演奏し、終止形をつけて終わる。

短調は、和声的及び旋律的短音階の両方を一度ずつ続けて演奏し、終止形をつけて終わる。

- 2 (A) J. S. Bach：平均律クラヴィーア曲集 第 2 巻より 第 15 番 ト長調 BWV884

プレリュードの繰り返しはしない。

- (B) J. S. Bach：2 声のインヴェンション BWV772～786 より 1 曲又はシンフォニア（3 声のインヴェンション）BWV787～801 より 1 曲を自由選択。ただし、インヴェンション第 10 番ト長調、シンフォニア第 5 番変ホ長調、シンフォニア第 6 番ホ長調を除く。

- (C) J. S. Bach：アンナ・マグダレーナ・バッハのためのクラヴィーア小曲集より

メヌエット ハ短調 BWV Anh.121 繰り返しはしない。

（注）※作曲及び指揮専攻志願者は、上記 1 は必ず、2 は（A）（B）の中から 1 つを選択し、演奏すること。

※弦楽、管・打楽及び声楽専攻志願者は、上記 1 は必ず、2 は（A）（B）（C）の中から 1 つを選択し、演奏すること。

※全て暗譜で演奏すること。（繰り返しはしない。）

<動画の提出方法>

- ・Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること。

動画ファイルをアップロードするためのリンクを、令和 6 年 2 月 15 日（木）以降に出願時に登録しているメールアドレス に送付します。

メールで送付したリンクを開くとアップロード画面に移るので、提出したい動画ファイルを選択してアップロードしてください。

なお、動画ファイルのアップロードにあたり、Dropbox のアカウントを作成したり、アプリをインストールしたりする必要はありません。

メールが2月末までに届かない場合は、電話等により連携推進課入試担当まで問い合わせること。

- ・動画はピアノ専攻及び音楽学専攻志願者を除く受験者全員が提出すること。
- ・動画は mp4 形式で作成し、タイトルは、「副科ピアノ. 受験番号. 受験者氏名」とすること。
なお、受験番号は半角数字とすること。

(例) 副科ピアノ. 21001. 芸大和音

- ・動画の提出期限は、令和6年3月4日(月)18時00分00秒とする。
(特別な事情がなく、上記期限までに動画のアップロードがなかった場合は、受験を認めません。)

＜動画について＞

- ・動画の収録においては、課題曲演奏前に受験番号を言うこと。なお、受験番号は動画で聞きとれるように、大きな声ではっきり言うこと。
- ・カメラアングルは固定し、演奏者の顔と手元が常に明確に映ること（全て暗譜で演奏すること）。
- ・動画は本学入学試験のために収録したものとし、編集や加工は一切禁止する。また、提出後の差し替え・変更は認めない。
- ・ビデオカメラに音声ボリュームを自動的に調節する機能がついている場合は、演奏の抑揚がなくなくなるため、使用しないこと。また、音量が極端に小さい、あるいは大きい、また雑音が入ったりしないように収録すること。
- ・映像と音声は同時に収録すること。映像と音声が一致していない場合や、映像や音声を加工したと判断した場合は、失格となる可能性があります。
- ・課題曲1・2はカメラを止めずに続けて演奏し、ひとつの動画に収録すること。

＜採点について＞

- ・採点は第一次試験合格者のみに対して行います。

＜その他注意事項＞

- ・インターネット出願登録時に登録したメールアドレスで「@kcua.ac.jp」のドメインからのメールを受信できるように設定すること。
- ・可能であれば、キャリアメール（NTT ドコモ、ソフトバンク、au 等）以外のメールアドレスを使用することが望ましい。
- ・動画の作成方法及び Dropbox の利用方法に関する問い合わせには一切応じません。

令和 6 年度（2024 年度）

音楽学部入学試験 第二次試験（音楽学専攻）

口頭試問（900点）

試験時間：1人35分程度（事前提出物に基づいたプレゼンテーション（15分）と質疑応答（20分程度））

実施方法：プレゼンテーション形式は自由。

紙媒体の配布資料を使用する場合は、合計5部を各自で印刷して、当日持参すること。パソコンを用いてプレゼンテーションを行う場合には、PowerPoint、Keynote、またはGoogleスライドで作成し、USBメモリに保存し、当日持参すること。パソコン、プロジェクター、ケーブルは大学で用意する（持参したノートパソコンの使用も可能とするが、その場合も発表資料を保存したUSBメモリを用意しておくこと）。

注意事項：控室や試験室等でプレゼンテーションと関連した音を出す必要がある場合は、事前に連携推進課入試担当に申し出ること。

試験会場

〒600-8601 京都市立芸術大学(京都市下京区下之町 57-1)

試験会場へのアクセス



●JR・地下鉄・近鉄電車

JR(京都線・琵琶湖線・嵯峨野線・奈良線)、地下鉄烏丸線、近鉄京都線
京都駅から徒歩約6分(A棟まで)

●京都市バス

4・16・17・81・205・南5 系統
塩小路高倉・京都市立芸術大学前から下車すぐ(A棟まで)

●京阪本線

七条駅から徒歩約6分(I棟まで)

注 交通機関の利用については、路線及びダイヤの変更に留意するとともに、周辺の交通事情等を事前に把握し、試験当日、指定の時刻に遅れることのないよう注意してください。

令和5年(2023年)11月

京都市立芸術大学 連携推進課 入試担当

TEL: 075-585-2005

E-mail: nyushi@kcua.ac.jp

公式HP: <https://www.kcua.ac.jp>